

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
家庭基礎	2	2年・1類・B・C型 2類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	家庭基礎(実教出版)		楽しく学べるマナーの基本

【科目の到達目標】

- ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解。
- ・生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【評価の観点と方法について】

- 1 家族・家庭に対して、関連する制度や法律等に関心を持ち、さらに生きていくうえの知識・技術を習得して、自分の生活をデザインしようとする意欲がある。
- 2 学習した内容を理解したうえで、自分の生活課題や社会的な課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるのかを思考し、判断した内容をレポート等でまとめることができる。
- 3 自立するために必要な調理技術、裁縫技術 基礎的技術などを身につけることができる。
- 4 人が生きていく上で必要な「生活」「マナー」にかかわる基本的知識を身につけ、理解することができる。
実習態度・作品や課題の提出・ワークシート・定期考査等で評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	はじめに 家庭科を学ぶにあたって ◆自分らしい生き方と家族 ・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律	「家庭基礎」学習の意義や内容を理解する 自己を客観的に見つめライフステージごとの特徴・課題を考え、理解し、どのように青年期を生きるか 家族・家庭の形態・機能の変化・家族に関わる法律を知る 子どもの誕生、心身の発達と特徴を知る	各領域の目標を説明し、学習方法やレポートの書き方等評価の方法を理解する 自己を見つめながら、人の生涯の特徴・課題を理解する資料を用いて青年期の生き方を社会的背景も含めて理解する 家族の形態・機能、時代と共に変化する家族、かかわる課題、社会的事象を理解する 家族に関する法律を戦後から現代までの民法改正の動きを知りながら理解する 視聴覚教材や新生児模型等を用いて、生命の尊さ、親の思い、乳児の特徴や発達を理解する	情報収集、ワークシート、レポート等の提出 家族に関する法律について、基礎的知識を身につけている 子どもの特徴や発達について基礎的知識を身につけている
	5	◆子どもとかかわる ・子どもとは ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・ふれあい体験 ・子どものための社会福祉	子どもの食生活、衣生活、遊びについて理解し実習に繋げ、体験を通し子どもや親への理解を深める 住まいの機能や気候風土とのかかわり、住空間の構成を学ぶ ライフステージ・スタイルにに応じた住生活の計画ができ、平面図の読み取り	児童文化財の製作、離乳食の実習、衣生活用品にふれ、子どもの生活を理解する 保育園見学・実習でのふれあいで子どもの理解を深める 親子をとりまく権利と支援を理解する 住居の歴史、世界の住まいを知る 個人生活・家事労働・共同生活・整理衛生、各空間の機能を理解する 快適な住まいをどのように設計すればよいか考え、基本的平面図表示記号を学び平面	児童文化財の製作と提出、意欲的に見学して、レポート提出 平面図記号を正しく理解している 平面図の読み取りができる 住空間の設計提出
	6	◆住生活をつくる ・人間と住まい ・住まいと文化 ・住まいを計画する ・健康に配慮した快			

	7	適な室内環境 ・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり ・住生活とマナー	ができる 快適な室内環境について学び、和・洋室のマナーを理解	図の読み取りができるようにする 日照・日射・採光・照明・通風・換気・冷暖房等の知識を理解する 住居内における立ち居振る舞いを理解する	住まいのメンテナンス・安全対策が理解できている
二 学 期	9	◆衣生活をつくる ・人と衣服のかかわり ・衣服の素材・衣服表示・管理まで ・身近な材料で生活用品の製作	衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を知り、衣服素材の性能用途に応じた選択、表示知識を習得する 基本的な裁縫の技術を体得する	衣服の様々な着用目的を考え、衣生活の選択・購入から洗濯の方法、管理から廃棄に至るまで、衣服計画の重要性を理解する 手縫いの基本を通して日常生活に役立つ工夫をし、もの作りの楽しさを体験する 冠婚葬祭等、状況に合わせた装いについてマナーの本やDVD映像から理解する	衣服の機能やの特徴について基礎的知識を身につけている日常着の管理についても理解できている
	10	・衣文化とマナー	TPOに合わせた着装を理解する	高齡化社会の現状、将来に向けて進む高齡社会について認識し、高齡者の心身の特徴や生活を視聴覚教材やふれあい学習を通じて学び、介護保険制度も理解する	作品提出 積極的な参加態度 疑似体験記録提出
	11	◆高齡者とかかわる ・高齡者を知る ・高齡社会を支えるしくみ ・社会保障制度	高齡社会の現状と課題、心身の特徴や生活を知り、地域での助け合い活動などを理解	高齡社会を支えるしくみ・地域で支えあう暮らしを理解する	高齡化の現状を理解し関心を高め基本的知識が身につけている
	12	◆食生活をつくる ・食文化の形成 ・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり	世界の食文化を知る 個々の食生活の問題点、栄養素の働きと含まれる食品、食生活と健康との関わりを理解する	ビデオや資料で理解し自分の食生活についての課題も考える 食事の意義について考え、食品の特徴を理解し、からだの中での働きを理解し、バランスのとれた食生活に繋げる	食生活での課題を理解している 食品の特徴について基礎的知識を身につけている
三 学 期	1	・食品の選択と安全・食事計画・献立作成・調理実習 ・食文化とマナー	調理技術を身につけバランスのとれた家族の食生活を考える 食事のマナーを知る	調理法の基本を学び、調理が出来るようになる。調理器具の使い方・片付け方食材の特徴と扱い方を実習を通して知る 和・洋・中の食卓作法を理解する	調理技術を身につけている 調理実習・マナーレポート提出
	2	◆消費行動を考える	18歳成年を理解し、現代の消費生活について理解し、自立した消費者を目指し環境にも配慮した消費者になる	消費者の権利と責任を認識し、賢い消費者として行動できるようにする 将来の生活を考える	消費者として必要な知識を理解し自身の経済観念を見直す 自立度チェック
	3	・社会人になるためのマナー			

【その他】

・家庭基礎は2年次の1年間(2単位)で履修します。

・実習や演習をできる限り多く取り入れながら体験を通して学習していきます。

・さまざまな生活活動を想定しながら学んでいくことから、生きていくための総合力が身に付きます。

・連続して課題に取り組むことも多く、休むことなく実習・演習に臨んでください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
家庭総合	2	2年・1類・A型 3類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		家庭総合(実教出版)	楽しく学べるマナーの基本

【 科目の到達目標 】

- ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。
- ・生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【 評価の観点と方法について 】

- 1 家族・家庭に対して、関連する制度や法律等に関心を持ち、さらに生きていくうえの知識・技術を習得して、自分の生活をデザインしようとする意欲がある。
- 2 学習した内容を理解したうえで、自分の生活課題や社会的な課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるのかを思考し、判断した内容をレポート等でまとめることができる。
- 3 自立するために必要な調理技術、裁縫技術 基礎的技術などを身につけることができる。
- 4 人が生きていく上で必要な「生活」「マナー」にかかわる基本的知識を身につけ、理解することができる。
実習態度・作品や課題の提出・ワークシート・定期考査等で評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	はじめに 家庭科を学ぶにあたって ◆自分らしい生き方と家族 ・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族	「家庭総合」学習の意義や内容を理解する 自分自身を客観的にみつめ、人の一生について考え、ライフステージごとの特徴・課題を見いだす 男女参画社会の現実を理解し、どのように青年期を生きるか考えるとともに家族・家庭の形態・機能の変化を知る	各領域の学習目標を説明する 自分についてワークシート等で客観的に見つめることができ、人の生涯の特徴・課題を理解する 資料を用いて青年期の生き方、社会的背景も含め理解する 家族の意義や形態・機能を理解し、時代と共に変化する家族、かかわる課題、社会的事象を考えながら理解する	情報収集、ワークシート、レポート等の提出
	5	・家族に関する法律 ・高校生のマナー ◆住生活をつくる	家族に関わる法律を知る 家族・近隣・学校でのマナーを理解する	家族に関する法律(親族・相続) 戦後から現在までの民法の改正の動きも知り、理解する 挨拶・服装等について、よりよいことを考え選択し、実行できる	
	6	・人間と住まい ・住まいと文化 ・住まいを計画する	住まいの機能や気候風土とのかかわり、住空間構成を理解する ライフステージ・スタイルに応じた住生活計画	住居の歴史、日本・世界の住まいを知る 個人生活・家事労働・共同生活・整理衛生、それぞれの空間における機能を理解し、快適な住まいをどのように設計すればよいか考える	家族に関する法律について、基礎的知識を身につけている 平面図記号を正しく理解している 平面図より、平米数や室構成等の読み取りができる 住空間の設計提出

		・健康に配慮した快適な室内環境 ・安全な住まい ・持続可能な住まいづくり	ができるようにする 平面図の読み取りができるようにする 快適な室内環境について学び、洋室・和室を理解する	基本的平面図表示記号を学び、平面図の読み取りができるようにする 日照・日射・採光・照明・通風・換気・冷暖房等の知識を理解する 健康に配慮した快適な室内環境・維持管理 安全な住まいなど誰もが快適に住まうための課題を理解する 住居政策と住まいの課題を考え、今できることを見いだす	基本的な知識、住まいのメンテナンス・安全対策が理解できている 住居における課題や問題点を理解できている
二期	9	◆衣生活をつくる	衣服の起源や歴史、風土に適した衣服を学習し、ライフステージごとの衣服、社会環境とのかわりについて学ぶ 衣服素材の性能、用途に応じた選択ができ表示知識を習得する TPOに合わせた着装を理解する	衣服の様々な着用途的を考える 衣生活の選択・購入から洗濯の方法、管理から廃棄に至るまで、衣服計画の重要性が理解できる 衣服素材について理解し、適切な衣服選びができる力を身につける	衣服の機能や材料の特徴について基礎的知識を身につけている 日常着の管理について理解できている 作品提出
	10	・衣服の表示と管理			
	11	・身近な材料で生活用品の製作		ものの作りの楽しさを体験し、基礎基本的な縫製技術を習得する	
	12	・衣文化と着装マナー		動画や資料で理解する 制服(フォーマルウェア)などのマナーを理解する(和装・洋装共) 受け応えや入退室のマナーなどを具体的にを行う	
三期	1	◆消費行動を考える	18歳青年を理解し、様々な消費者トラブルを知り対処法を理解する 現代の消費生活について理解し、自立した消費者を目指し環境にも配慮した消費者になる	自身が消費者であることを知り、消費行動においては都度意思決定が行われていることを理解する 消費者トラブルの解決法・ネットでの取引・トラブルその種類・消費者契約法などの法律・信用販売(クレジット)のしくみ等について理解する 賢い消費者になるためにどのようなことに気をつけなければならないのかを考える	経済設計の作成 積極的な参加態度
	2	・社会の変化と消費生活			
	3	・消費者の権利と責任 ・持続可能な社会環境 ◆経済的に自立する ・経済のしくみ ・ライフステージと経済計画			

【その他】

- ・家庭総合は2・3年次の2年間(各2単位)で履修します。
- ・実習や演習をできる限り多く取り入れながら体験を通して学習していきます。
- ・さまざまな生活活動を想定しながら学んでいくことから、生きていくための総合力が身に付きます。
- ・連続して課題に取り組むことも多く、休むことなく実習・演習に臨んでください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
家庭総合	2	3年・1類・A型 3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	家庭総合(実教出版)		楽しく学べるマナーの基本

【科目の到達目標】

- ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解。
- ・生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【評価の観点と方法について】

- 1 家族・家庭に対して、関連する制度や法律等に関心を持ち、さらに生きていくうえの知識・技術を習得して、自分の生活をデザインしようとする意欲がある。
- 2 学習した内容を理解したうえで、自分の生活課題や社会的な課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるのかを思考し、判断した内容をレポート等でまとめることができる。
- 3 自立するために必要な調理技術、裁縫技術 基礎的技術などを身につけることができる。
- 4 人が生きていく上で必要な「生活」「マナー」にかかわる基本的知識を身につけ、理解することができる。
実習態度・作品や課題の提出・ワークシート・定期考査等で評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	◆食生活をつくる ・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり	世界の食文化を知る 各自の食生活の問題点を考える 栄養素の働きやそれぞれが多く含まれる食品について学ぶ	食事の意義について考え、自分の食生活を見直し改善へとつなげることができる からだの中での働き、それらを多く含む食品を理解し、バランスのとれた食生活につなげることができる	栄養素と食品の特徴について基礎的知識を身につけている 食生活での課題を理解している
	5	・食事の計画と調理 ・献立作成 ・調理実習	食生活と健康との関わりを理解し、よりよい食生活の実践・1日の食事摂取量を考え、献立を立てる 調理法を学び、調理技術を身につける バランスのとれた家族の食生活を考える	自分の身体活動レベルにあわせた食事を考える 献立カードを用えた献立を作成する 食材に応じた保存・下処理の方法や切り方、調理方法、更には調理用具の扱い方に関する基本調理実習を通して体得し、学ぶ 和洋中の食事マナーについて学ぶ	1日の献立を立てることができる 調理技術を身につけている 家族の献立計画表を提出 積極的な参加態度
	6	◆子どもとかわる ・子どもとは ・子どもの発達	子どもの誕生、心身の発達と特徴を知る 子どもの食生活、衣生活、	視聴覚教材や新生児模型等を用いて、生命の尊さ、親の思い、乳児の特徴や発達を理解する	知識を身につけている 実習の態度や意欲

	7	・子どもの生活 ・ふれあい体験 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉	遊びについて理解し実習に繋げ、体験を通し子どもや親への理解を深める	児童文化財の製作、離乳食の実習、衣生活用品に触れ、子どもの生活を理解する 離乳食や子どものおやつを作る こども園見学実習でのふれあいで子どもの理解を深める 視聴覚教材や時事情報を元に、グループワークやディベートなどで考える学びを進めていく	児童文化財の製作と提出 意欲的に見学してレポート提出 プリント提出
二 学 期	9	◆高齢者とかかわる ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る	高齢社会の現状と課題について学習する 高齢者の心身の特徴や生活について理解する	現在の高齢社会、また将来に向けた少子高齢化の流れを統計等から理解する。また、その課題についても考え理解する 実習などを交えながら高齢者の心身の特徴や生活について理解し、積極的に高齢者に関わる意識を高める	高齢化の現状を理解し高齢社会への関心を高め基本的知識を身につけている 高齢者の食生活
	10	・高齢社会を支えるしくみ	高齢者の経済・社会活動等の現状を理解し、社会保障のしくみを知る ボランティア活動を知る 社会の一員としての私たちの役割を理解する	高齢期に関する制度、特に介護保険について、なぜこのような制度が必要なのかを理解する 高齢社会を支えるしくみ・地域で支えあう暮らしを理解する 高齢者がどのようなところで活躍しているか、動画等で知る	実習での積極性 ワークシートや疑似体験実習記録等の提出
	11	◆社会とかかわる ・社会保障制度 ・共生生活を生きる	御礼状・感謝の気持ちの伝え方 手紙のマナー	手紙の構成・頭語と結語・時候の挨拶・用語のマナー等を理解する	レポート提出
	12	◆社会に出てからのマナー ・情報伝達			手紙のマナー、書き方を理解し御礼状を提出
三 学 期	1	◆社会に出てからのマナー ・将来の生活設計 ・ひとり立ちへのステップ	自立・自律することを理解する ひと暮らしのシミュレーション	家庭科で学んだことのまとめ 将来どのような家庭人になりたいか、その実現に向けて今できることを具体的に考える	積極的な参加態度 自立度チェック レポート提出

【その他】

- ・家庭総合は2・3年次の2年間(各2単位)で履修します。
- ・実習や演習をできる限り多く取り入れながら体験を通して学習していきます。
- ・さまざまな生活活動を想定しながら学んでいくことから、生きていくための総合力が身に付きます。
- ・連続して課題に取り組むことも多く、休むことなく実習・演習に臨んでください。